2017年5月16日[火]-7月9日[日]

|開館時間 | 10:00-17:00 [入館は16:30まで]

|入村料|一般1500円[1400]|大·高校生1000円[900]

小・中学生入館無料 | ●[]内は20名以上の団体料金 | ●清春白樺美術館、光の美術館入館料を含む

公益財団法人 清春白樺美術館

Foundation Yoshii Kiyoharushirakaba Museum 山梨県北杜市長坂町中丸2072 2072 Nakamaru, Nagasaka-cho Hokuto-shi, Yamanashi Tel: 0551-32-4865

協力——志賀直吉·志賀道哉

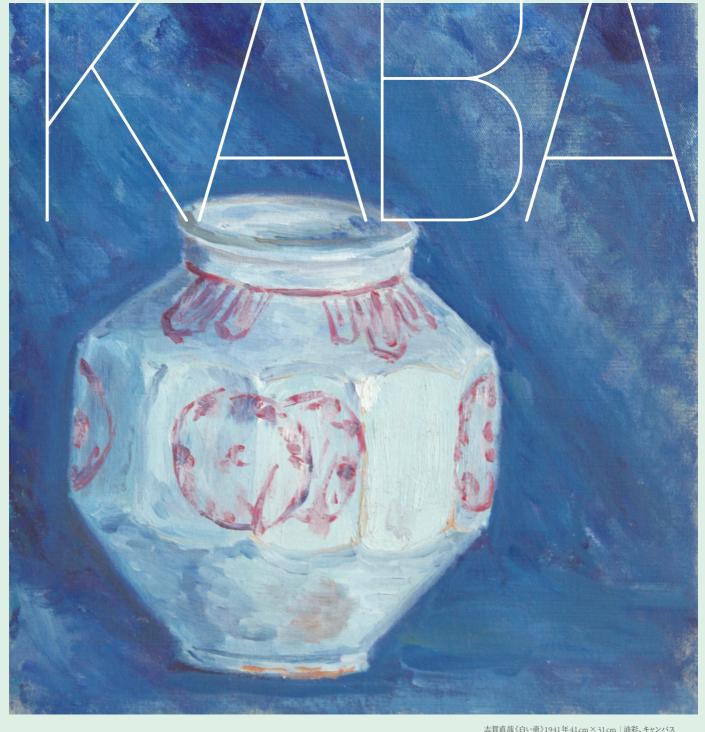
華派の精神展

Mind of Shirakaba-ha

志賀直哉コレクションを中心としてII

From Naoya Shiga Collection II

Foundation Yoshii



明治43年(1910)4月に発行された雑誌「白樺」は武者小路実篤、志賀直哉、木下利玄らを核とし、里見弴、児島喜久雄、柳宗悦、郡虎彦 らが合流し公刊されました。号を追うにつれ長與善郎、山脇信徳、千家元麿、岸田劉生、バーナード・リーチ、梅原龍三郎、中川一政、富 本憲吉らも参加し、「和而不同」「十人十色」の個性の伸長を目指し小説の発表の他、西洋の美術紹介や白樺派主催の展覧会開催、美 術館建設のための資金集めなど多岐にわたる活動を行い、近代日本の文学と美術の一大拠点として同時代及び後代に影響を与えまし た。本展は志賀直吉氏より寄贈を受けた1120点の志賀直哉所蔵作品の一部を順次公開する企画展の第2回目となります。『和解』『暗 夜行路』など、選び抜かれた言葉により簡潔にして鋭敏な文章を残し、白樺派の中心人物として活動した志賀直哉は、文学作品の執筆以 外にもロダンやゴッホ、セザンヌなど当時日本では知られていなかった巨匠の作品を「白樺」 誌上で紹介し、自身も絵筆を取りスケッチや絵 画作品の制作を行うなど、美術に関しても独自の審美眼で研究をおこなっておりました。本展では文学と美術が一体となって展開した白樺 派の精神とはどのようなものであったかを、志賀直哉が所蔵収集した美術品、日用品を中心に公開致します。白樺派が夢見ながら幻のまま となっていた美術館設立の夢を再現した当美術館にて、白樺派の情熱を今一度感じていただく機会となれば幸いです。









- 若山為三《志賀直哉像》 34.5cm×24.3cm | 墨、紙
- 武者小路実篤《梅の枝》 32.5cm×46cm | 紙本黒画淡彩
- 若山為三《牡丹》 53cm×45.4cm | 油彩、板
- 梅原龍三郎《犬》 油彩、キャンバス
- 志賀直哉《鳥の声に…》 紙本墨書 | 20.5 cm ×17.5 cm
- 6 溶田庄司《水差し(塗蓋付)》 陶器15cm×19cm×19cm







同時開催として ジョルジュ・ルオー『ミセレーレから』



安藤忠雄 | 光の美術館 アントニ・クラーベ「カンディード」



清春芸術村 Kiyoharu Art Colony

ラ・リューシュ La Ruche 清春白樺美術館 Kiyoharushirakaba Museum 光の美術館 Museum of the Light ルオー礼拝堂 Rouault Chapel 茶室徹 Tearoom Tetsu 梅原龍三郎アトリエ Ryuzaburo Umehara Atelier 白樺図書館 Shirakaba Library 清春陶芸工房 Kiyoharu Ceramic Studio

開館時間

10:00-17:00 [入館は午後4時30分まで]

休館日

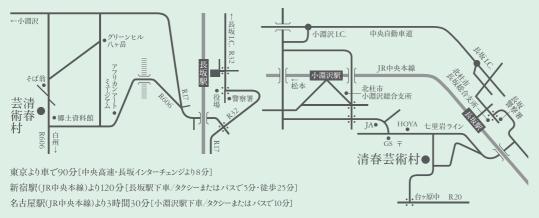
年末年始

月曜 [但し、祝日の場合は翌平日]

入村料

一般1500円[1400円] 大·高校生1000円[900円] 小·中生無料

- ●[]内は20名以上の団体料金です
- 清春白樺美術館、光の美術館入場料を含む



清春芸術村 公益財団法人清春白樺美術館 Kiyoharu Art Colony Foundation Yoshii Kiyoharushirakaba Museum

山梨県北杜市長坂町中丸2072 2072 Nakamaru Nagasaka-cho Hokuto-shi, Yamanashi Tel: 0551-32-4865

kiyoharu-art-colony@royal.ocn.ne.jp HP: http://www.kiyoharu-art.com Twitter: http://twitter.com/kiyoharuart